

資源管理型漁業推進総合対策事業調査

2. 広域回遊資源：日本海北ブロック 第Ⅱ期 ムシガレイ
(抄 録)

佐 藤 恭 成

1. 近年のムシガレイの漁獲量は、1993年3.2トン、1994年8.2トン、1995年12.6トン、1996年18.1トンと急速に増加しており、その要因として1991年、1990年に生まれた年級群、特に1991年に生まれた群の資源量が多いことが考えられた。
2. 文献調査から、1953年から1968年までの年間漁獲量は2～135トンの範囲にあり、近年の漁獲（年間3～18トン）はかなり低い水準にあることがわかった。また、かつては底びき網での漁獲量が多かったことが推定された。
3. 1993年から1995年までの青森県日本海と秋田県のムシガレイの漁獲量を比較した結果、漁獲量の変化傾向が類似していた。また、秋田県沖合では底びき網で体長12～17cmの小型個体が漁獲されていた。
4. 青森県から放流されたムシガレイの再捕データを解析した結果、放流個体は全て青森県日本海かそれ以南で再捕されており、本県以南の海域との移動回遊の存在が明らかとなった。